



令和4(2022)年9月25日発行

とびだしの四季

発行所／〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-19-7 のとやビル3F TEL:03-3981-5849 FAX:03-3981-5878



3年ぶり 池袋の街にハワイの波の音 風の声が帰ってきた

池袋西口公園グローバルリング会場



サンシャインシティB1 噴水広場会場

豊島区観光協会の主催する最大イベントである「第20回東京フラフェスタin池袋2022」が7月23日、24日、池袋西口公園の野外劇場「グローバルリング」をメイン会場に開催され、コロナ禍もあり3年ぶりに池袋はフラの風で包まれました。

今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、メイン会場のほかサンシャインシティ噴水広場と大塚南口のトランパル広場の3会場に縮小しての開催となりました。

今回の参加は121チーム、約1800人。両日とも午前中から強い日差しが照りつける真夏日で、本場ハワイから特別出演者を招いての特別演舞や、ハワイアンバンドによるライブパフォーマンス、来場者もフラを踊ることができる「みんなで踊ろう!フラナイト」など、華やかなフラステージが披露され、熱心な

池袋フラファンが大勢駆けつけて熱心に声援を送っていました。

前日の7月22日にはグローバルリングで小池都知事、高野区長らが参加して華やかな前夜祭として華やかなオープニングセレモニーが開催されました。

毎回多くの企業等がボランティアとして各会場で開催運営にあたっていますが、今回は、＜メイン会場＞池袋西口商店街連合会、池袋西口駅前名店街、多田ファミリー、真愛不動産、巣鴨信金、(株)NTT東日本東京北支店、＜サンシャイン会場＞(株)NTT東日本東京北支店、(株)H.I.S池袋支店、三井住友信託銀行東口支店、＜トランパル大塚会場＞南大塚ネットワークの皆さんに大活躍していただきました。

池袋フラフェスタの第1回は平成15年に池袋西口公園で開催され、当時は4チーム、約100人の参加でしたが、以来回を追うごとに規模が大きくなり、いまでは日本最大級のフライベントに成長しました。



トランパル大塚会場

令和4年度総会・懇親会開催

一般社団法人豊島区観光協会の令和4年度総会・懇親会は6月17日午後5時から、池袋西口のホテルメトロポリタンで開催され、令和3年度事業報告・会計・監査、また令和4年度事業計画・収支予算等の議案が了承されました。参加は80人、来賓は50人。

総会は石川事務局長の総合司会のもと、開会の辞・森副会長、近江会長あいさつ、近江会長を議長に、令和3年度事業報告・平井(熙)副会長、同会計報告・菅澤副会長、監査報告・三原監事、令和4年度事業計画・平井(熙)、同収支予算・菅澤副会長と進み、谷口副会長の閉会の辞となりました。

引続いての懇親会は、平井(憲)副会長が開会の辞、近江会長のあいさつのもと、高野区長、小池東京都知事、鈴木・阿部・岡本各衆院議員、木下区議会議員、菊池区商連会長、渡邊東商豊島支部会長、片桐町連会長、内田豊島消防署長・金枝池袋消防署長ら来賓の皆さんが次々にあいさつがあり乾杯に。引続き長橋・本橋両都議、各区議の紹介、フラフェスタ、オープンゴルフのPR、また桜の観光大使によるピアノ演奏などもあり、和やかに歓談が続き、8時頃、佐々木(誠)副会長閉会の辞、加藤(竹)副会長の手締めで幕となりました。



令和4年度事業計画 (抜粋)

協会組織・財政基盤の強化

当協会は、昭和36年7月の設立以来60年を経過した。この機会に改めて組織の強化とともに自主財源の確保に努め、更なる持続可能な経営基盤の整備に努める。

- ① 新規入会活動を促進し、会員数の増加に努める。
- ② 会員の加入メリットを実感できるよう、ゴルフコンペ(オープン参加含む)を定期的に開催するなど、会員のための交流事業等を実施し、会員同士の結束を強化する。
- ③ 区補助事業の委託化を検討する。
- ④ ホームページ等を活用した自主財源の確保に努める。



観光情報センター機能の充実

当情報センターは、東京都の指定観光窓口であるとともに、政府観光局(JNTO)の外国人観光案内所の認定基準カテゴリ1を取得している。コロナ禍の現状やスマートフォンの普及に伴うセンター来場者の減少傾向が進む中であっても、来街者への利便性の向上のために、密度の高い情報の収集と提供に努める。

- ① 観光情報の収集・蓄積に努めるとともに、民間事業者等が設置する各観光案内所との連携の強化を図る。
- ② 様々なイベントの機会を捉え、「臨時観光情報センター」を開設し、積極的に区内の観光PRを行う。
- ③ 「豊島区MONOづくりメッセ」や「都庁1階情報センター展示PR」への出展を継続し、豊島区の観光スポットや観光協会のPRに努める。
- ④ 地震・台風・伝染病等災害時の情報伝達方法について検討し、有事に備える。
- ⑤ 土日祝日も含め、情報センター窓口の運営のあり方について費用対効果の観点から見直しを検討する。

観光協会ホームページの活用

平成31年4月、9年ぶりに協会ホームページの全面改訂を行った結果、海外からのアクセスも含め、格段に訪問件数が増加している。今後は更に魅力あるホームページの構築と精度の維持に努める。

- ① 常に最新情報を提供するとともに、HPに掲載すべき各種イベントの情報収集方法等について検討する。
- ② ホームページの外国語について、魅力あるコンテンツの充実に努めるとともに、さらに他の言語の掲載の必要性について検討する。
- ③ 有料バナーの採用について検討する。
- ④ 引き続き、会員のメリットとなる会員PRコーナーの充実を図る。

外国語観光ボランティアガイドの会の育成と支援

平成28年2月に設立した当会は、第3次募集を経て現在36名の会員で構成されているものの、新型コロナ



ナ禍により、一昨年から総会も開催できず、活動も停止している状況にある。改めて組織の立て直しと円滑な活動再開が課題となっている。



- ① 新型コロナ禍収束を見据え、組織の立て直しに努める。
- ② 当会の財政的支援及び自主的な活動が可能となるよう育成に努める。
- ③ 研修等の充実を図るとともに、駅周辺やイベント会場等での外国人向け案内活動が円滑に行えるよう支援する。
- ④ 活動のできる場と機会の開拓に努めるとともに、ボランティアガイド派遣体制の整備を行う
- ⑤ 必要に応じて第4期ボランティアガイドの募集を行い、組織力の強化を図る。
- ⑥ 池袋西口公園グローバルリングカフェにおける観光案内業務の早期実現を図る。

🐱 訪日外国人旅行者への観光情報提供の充実

新型コロナ禍で停滞する今、復活が見込める訪日外国人が安心して豊島区の魅力を満喫できるよう、外国人への観光情報収集・発信の充実を図る。

- ① 「外国語観光ボランティアガイドの会」の活用を図る。
- ② 外国語版「としまガイドマップ」の改定版を発行する。
- ③ 当該パンフレット等は、政府観光局や東京都が実施している海外観光プロモーション事業等で配布するなど、積極的な活用を図る。
- ④ 訪日外国人が安心して地域を回遊できるよう、池袋インバウンド推進協力会との連携を強化する。
- ⑤ 「東京都及び東京観光財団支援事業(上記2)」における提案内容から、訪日外国人にも有益となる観光情報を精査し活用を図る。

🐱 観光サポーター制度の創設

ホームページを活用し、区のイベントや区における主要な観光資源からディープな穴場までの観光情報を発信する「観光サポーター」制度を創設する。

- ① 募集は、区民に限定せず一般公募とし、定員は概ね20人程度とする。
- ② サポーターが取材した情報は、協会HPやSNSで配信する。
- ③ サポーターに対して、インセンティブとなる特典を検討する
- ④ 実行委員会の決定に基づき、本年度中に第1次募集を行う。

🐱 観光フォトコンテストの実施

様々な人の目をとおした豊島区の良さを写真に収

めたフォトコンテストを実施し、協会発行の観光PR紙やHPに掲載するなどにより活用するとともに、変わりゆくまちの歴史的データとして蓄積していく。

- ① 早急に実行委員会を創設し、本年度中に第1回目のコンテストの実施を目指す。
- ② 募集・応募については、HPを活用する。
- ③ 応募作品や優秀作品をHPに掲載するなど、誰もが楽しめるコンテストとする。

ソメイヨシノ桜の観光大使の活用

現在の第7代観光大使は、新型コロナの影響から任期を1年延長し3年間勤めていただいた。本年は改選期に当たるため新たな観光大使コンテストを開催するとともに、最大限、PR活動等で活用を図る。

- ① 本年度の協会賀詞交歓会に併せ、コンテストを開催する
- ② 各団体等が開催するイベント等に出演できるよう積極的に促す。
- ③ 大使には、イベント時以外においても協会HPへの投稿等を依頼し、積極的に観光PRを行っていただく。
- ④ 協会が作成するパンフレット等に観光大使の写真を掲載する。

🐱 友好都市交流事業の推進

当協会の姉妹都市の提携は、秩父観光協会(1980年締結)、遊佐町観光協会(1999年締結)、小江戸川越観光協会(2005年締結)であるが、その他飯能市、東松山市、湯沢町等様々な観光協会と交流を重ねている。また、当協会との交流を希望する観光協会も少なくない。さらに区の締結する観光交流等の自治体に対し、民間からのアプローチを積極的に行うなどにより、都市交流事業を推進させる。

- ① 永年交流を重ねている協会との新たな姉妹都市提携の可能性について検討する。
- ② 交流都市の希望により、当協会が主催するイベントには優先的に出店できるなどにより、交流の促進を図る。
- ③ 当協会と友好都市観光協会との交流を深めるとともに、会員の研修機会の一助として視察旅行等を企画し、全会員に呼びかける。
- ④ 区の交流事業に対し、民間サイドから積極的に協力を行う。

等々…



豊島区制施行90周年記念 豊島区観光協会オープンゴルフコンペ



3年ぶりの開催となる豊島区観光協会のゴルフコンペが9月6日、茨城県 水海道ゴルフクラブで開催されました。今回は「豊島区制施行90周年記念 豊島区観光協会オープンゴルフコンペ」。会員外も参加できるオープンゴルフコンペということで10組40名、コロナ禍においてプライベートでゴルフがちょっとしたブームになっていますが、今回は30代の若手も数多く参加いただき大所帯での開催となりました。

当日は天候に恵まれ絶好のコンペ日和。

朝礼では観光協会副会長の佐々木誠氏の挨拶、森弘治氏からルール説明がありIN/OUT両コースに分かれコンペがスタート。天気が良すぎたせいかサングラスなしではボールの飛んでいく方向がわからないほど。でもそこはさすが名門コースのベテランキャディーさんがしっかり球の行方を追ってくれました。

ランチタイムには前半の反省と後半への意気込みで、どのテーブルも会話が弾んでいる様子。終始笑

いが絶えない休憩時間でした。

後半は一時暗い雲が出てきましたが、なんとか最終組がホールアウトするまで天気はもちいよいよ表彰式。ドラコン・ニアピンの発表からはじまりいよいよ順位発表。会員の皆さまからご協賛いただいた豪華景品が並ぶ中、見事優勝に輝いたのは石井浄丈氏。そして 小野沢幸司氏が圧巻のスコアでベストスコアを獲得しました。おめでとうございます。

後日談になりますが、これだけ人数の多いコンペは久しぶりだと喜んでくださった方が複数名いたと耳にしました。イベントが少ない中、初対面の方との交流はまさにゴルフの醍醐味だと改めて感じた次第です。次回は来年3月に開催予定だとか、みなさんの参戦お待ちしております。(前原一仁・記)



森副会長と優勝した石井さん

景品等協賛企業 ()内は景品名

ホテルメトロポリタン(「クロスデザイン」ランチビュッフェペア招待)、栄真(株)ワッカ池袋(WACCAお買物券5万円分)、(株)大勝軒(ラーメン券)、(株)折原(ボッテガ・ゴールド1本)、(株)伊藤園池袋支店(ティバックとドリップコーヒーのアソート品3セット)、東京麒麟ビバレッジサービス(株)(生茶(555ml)1箱 マフラータオル40本 サプリメントミウウ40袋)、(株)サンシャインシティ コミュニケーション部(水族館年間パスポート3枚、入場券10枚、古代オリエント博物館入館券10枚)、(株)大塚(大塚ゴルフプラザ練習場利用回数券、ゴルフボール)、(株)中越(NECKBAND FAN FLEX 2個)、タカセ洋菓子(株)(賞金20,000円)、(株)関越物産(こんにやくセット40人分)、(株)ジャパンイーグルス(三井住友ギフトカード1万円分)、ホテルベルクラシック東京(ペア宿泊券・レストラン「ラコンテ」ペア食事券)、(株)福島家(菓子2箱)、(株)三原堂(塩せんべい6折)、丸八鯨(お食事券5000円相当2枚 + 湯呑茶碗2個)、(株)セシム(大びん2本券×10枚ビール券)、近江会長(2万円)、第一イン池袋(ツインルーム宿泊券朝食付き)、(株)三恵ニット(ニットシャツ20着)、末広サービス(缶ビール350ml 2缶×10枚)、東武デパート(菓子)、BMW社 (株)アウトプラッツ(キャディバック)、ルイイカール(ウィスキーボトル券)